

竹富町訪問税住民説明会の主な意見まとめ

開催日	税率・観光客数について	課税の対象・特別扱いについて	その他
1月15日 西表東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>物価も上がり航空運賃も上がると入域者数はかなり減少するという懸念がある。</li> <li>2000円は高いというのが素直な感想。</li> <li>竹富島のように数百円なら何とか払えると感じる。</li> <li>島によって往復の船代も時間もかなり異なるので、一律ではない取り方を検討してほしい。</li> <li>観光客がどれだけ減るのか、どれだけ税収が増え行政サービスを拡充できるのかシミュレーションしてコンセンサスを取るべき。</li> <li>金額に驚いて観光客が減るのではないか。</li> <li>来訪者が減ったらまた増やすのは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>扶養親族じゃない人もたくさんいて盆正月に帰省する。この人たちにも税金がかかると、ふるさとが遠のくと思う。家族はまとめてくるし高くなる。親がいると証明すれば免税にできないか。</li> <li>石垣市からもとる、家族からもとるとなると行動範囲も狭まってしまう。</li> <li>年に何回も来る観光客や石垣を拠点にして島々を周遊する人はどうなるのか。</li> <li>石垣に住所のある町役場職員はどうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民が負担すればいいと思う。</li> <li>行政のほうで金を作るサービスを考える方法もあると思う。</li> <li>船会社がやるのかどうか先に決めておく必要がある。</li> <li>町内の移動で税がかからず町内を周遊する流れができるとよい。</li> </ul>
1月18日 2月7日 黒島	<ul style="list-style-type: none"> <li>島ごとに税率を設定できないのか。</li> <li>2000円という税額を黒島は望んでいない。</li> <li>税の必要性はわかるが、税によりこれまで築いてきた客との関係性が台無しになる可能性がある。</li> <li>2000円は今はふさわしくない。</li> <li>観光客の増減や、減ったときに不利益を被る町民への対策は考えているか。</li> <li>黒島は観光客が少なくオーバーツーリズムではない。数%減るだけで黒島には大きい。黒島の事情を考えてほしい。</li> <li>黒島には西表の自然も竹富の文化もなく、畜産も低迷している。2000円は高い。島毎の税率が違っていいのでは。</li> <li>2000円取ったときに観光客数が何人になるのか教えて。</li> <li>2000円では来ない、回数が減るといって客が多い。</li> <li>黒島は竹富島などに行った後に最後に来る島なので来なくなると思う。</li> <li>島々に合った資料館などの施設を作り、各島の魅力発信方法を考えてほしい。2000円でも安い。</li> <li>周遊する中で一度出て再度2000円を払って入ってくるか。税収で整備を行うまで観光業は持つのか。</li> <li>もし税を入れるなら500円ぐらいが妥当だと思う。まずは安い金額から始めたい。家族連れで来るとかなり高額になる。</li> <li>税の必要性は理解したが税率に納得できない。定額であれば年パスを作る必要性も感じない。税率が高額だと再訪してもらおうチャンスを逃す。</li> <li>多くても1000円程度だと思う。</li> <li>300円程度がよい。3島をめぐって1000円程度となる。</li> <li>整備や行事で島が良くなり子供が戻ってくるとよい。島にあわせてやってくれるなら2000円でもよい。</li> <li>島での生活がしにくくなる。100円が最大だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産業の購買に来る人にも税がかかるのか。そうすると購買者が減るだろう。</li> <li>石垣の業者を依頼した際に2000円かかるとこちらに請求されてしまう。</li> <li>ダンスの先生とか、石垣のサービス業に助けられて生活が楽しく出来ている。</li> <li>県外から帰省した子どもにも税がかかるのか。必要な手続きは？</li> <li>親の介護のため移り住んでいるが、住民票を竹富町に移していない。その場合も税がかかるのか。</li> <li>黒島に家を建てる際の工事関係者等への補助を検討してほしい。</li> <li>町に住所ない人に課税されるのであれば人が来ず、活気がなくなるのではないか。都会に出た家族も帰って来たらなくなるのではないか。</li> <li>なかなか石垣に出られない人がマッサージを呼ぶこともあり、それがやりにくくなると幸福度が下がる。石垣市民は特別扱いでよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期船以外で入島する場合どう対応するのか。</li> <li>船会社は納得しているのか。</li> <li>回数券を購入する場合はどうなるのか。</li> <li>進め方が乱暴ではないか。訪問税以外の財源確保の仕方でも並行して考えてほしい。</li> <li>そのほか事業での財源確保はできないか。</li> <li>導入前提の説明会だけでなく意見交換会もやってほしい。</li> <li>黒島から直接西表島に行く航路も検討してほしい。</li> <li>税率が変えられないのなら、「GO to 黒島キャンペーン」のようなものを実施して黒島への来訪者の負担を緩和することは可能か。</li> <li>徴税を開始してから航路を整備するのでは観光客の減少に間に合わない。</li> <li>竹富島や西表島で先行してテストケースで導入してはどうか。</li> <li>検討期間が短すぎるので慎重に進めてほしい。</li> <li>町民へのアンケート調査をお願いしたい。</li> <li>訪問税には賛成だが一律の税額には疑問。施設利用料なども含めて財源確保を考えてほしい。</li> <li>一度訪問税を支払ったら数日～数週間は課税されない仕組みも検討してほしい。</li> <li>石垣市と共同で税を取るようにできないか。</li> <li>上陸しないダイビング客に課税されないのであれば、西表島からダイビングに行くよりも石垣島からダイビングに行く方が訪問税分安くなってしまう。また、弁当を食べに上陸する人が減る。</li> </ul>
1月19日 波照間島	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーツーリズムについて、波照間を含む各島でどの程度の人数を想定しているか。</li> <li>観光客は減ると思うが対策はあるのか。</li> <li>これまで町の税金で使っていたものの補填からまず始めて、5年後また考えればよいのではないか。</li> <li>観光客に改めて税額の候補と整備の内容を示してアンケートを取るとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税の徴収は日帰り旅行者のみにしてほしい。島にごみだけ残して、お金を落とさずに帰る人がいる。</li> <li>ホッピングバスや回数券の場合はどうなるのか。</li> <li>ダイビングツアーで訪れる人はどうか。</li> <li>竹富町職員は納税するのか。</li> <li>ファミリーで来ると負担が何倍にもなり大きい。</li> <li>年払い条件の扶養親族は証明が求められるのか。</li> <li>よその島に子どもが行く場合、行事で石垣から子供を呼んだら課税されるのか。</li> <li>年払いの対象を誰が決めるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再検討が5年後というのは期間が長いのではないか。</li> <li>島に行くごとに税がかかるのであれば、竹富町訪問税という名称ではわかりにくい。</li> </ul>

開催日	税率・観光客数について	課税の対象・特別扱いについて	その他
1月24日 小浜島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問税には基本的に賛成。シミュレーションを行い慎重に徴収金額を設定した上で、必要な財源の確保をしていただきたい。</li> <li>・個人的には1000円から始めてほしいと思っている。リピーターは2000円払ってもいいよと言ってくれる。</li> <li>・初めての方は5000円でも来るだろうがリピーターは島を知っている。反対する人はいないと思うがしっかりと観光客への説明はしてほしい。</li> <li>・不景気の中で2000円の税をかけて人が増えるということはないと思う。力のある企業は良いが細々とした事業者には打撃がある。観光客のパイが減ると値下げをしないとイケない。その結果事業がつぶれば町の税収も減るだろう。逆に宿泊客を増やして、竹富町のお土産に税がかからないようにするなどすれば儲かって税収も増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税の対象者および免除となる方の明確な線引きを明確化した上で、特別免除措置を講じていただきたい。</li> <li>・郷友会については免除措置を検討していただきたい。</li> <li>・医療、介護建設工事業者、その他の仕事に通う方も年間パスポート等により特別免除措置などの考慮してほしい</li> <li>・建築、医療他いろいろな面で石垣市民にはお世話になっている。石垣市民は無料でいいと思う。</li> <li>・自治会の役員や行事のために通ってくる人に配慮してほしい。</li> <li>・例えば個人でクーラーを設置するときに、単発で来る石垣の業者に訪問税がかかることで来てもらえなかったり負担が増えるのではないかな。</li> <li>・業者を呼ぶのが高くなる点などきめ細かくフォローしてほしい。</li> <li>・日帰り観光客は抑制したいが宿泊客には来てほしいので免税できないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した財源の確保によって高齢者の介護、子育て支援、幼児教育、学校教育医療の充実、船賃の負担軽減など政策を進めて地元住民が喜び子や孫まで竹富町に住んでよかった、観光に来てよかったと思えるような行政運営をしてほしい。</li> <li>・国が訪問者を考慮した金額を払ってくれる仕組みを作れないかな。</li> <li>・原因者負担という言葉が悪い。もっと温かい言葉を使ってほしい。</li> <li>・訪問税を沖縄県全体で進めることはできないのかな。</li> <li>・石垣のチャーター船などが少し寄る場合はどうするのか。</li> <li>・窓口対応が煩雑になり船会社だけが負担になると続かない。例えばアプリを開発して携帯に入れてもらってかざすだけで金額が出るとか、税を導入する前に竹富町が整備を検討してほしい。</li> <li>・どのように活用され、島が良くなっているか、観光客にもわかるようにSNSなどで示してほしい。</li> </ul>
1月25日 西表西部 鳩間船浮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税額算定の根拠として基準年や按分率の理由を教えてください。また、もっと安価にできる事業もあるのではないかな。</li> <li>・竹富町の財政状況を考えれば20億でも足りないのではないかな。</li> <li>・観光客が減って町の税収も減るのではないかな。税額については慎重に検討してほしい。300～500円を提案したい。</li> <li>・金額を下げて、長期宿泊の人からもう少し取るなど、柔軟に設定してほしい。</li> <li>・3島めぐりなどの観光客が減るのではないかな。</li> <li>・税額はもっと強気でもいいと思う。それだけの魅力がある。先のことを考えるとそれくらいは必要。高いけれども払う価値がある島にしていきたい。</li> <li>・トイレや下水道の整備などできていないことはたくさんある。観光客からは2000円しっかりとってほしい。</li> <li>・外国人の税額を多くすることは可能なのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜島が対象とならないなら、町内発の浜島ツアーより石垣島発のツアーの方が安くなってしまう。</li> <li>・小浜島に泊まって次の日西表島に行くのに石垣島を経由するともう一度払うのかな。</li> <li>・新城島は公民館長も市民で、管理のために通っている。役員を引き受ける人も減っている。こういう方々や郷友会は町民と同じ扱いにしてほしい。</li> <li>・八重山はひとつとしてやってきた。石垣市民は1000円にしてほしい。</li> <li>・工事関係者への課税は町民に跳ね返る。</li> <li>・郷友会は限られた地域にしかないが他の地域に住んでいても帰ってきて文化の担い手になる。そういう場合も含めて公民館長から名簿を提出するなど検討してほしい。</li> <li>・祖父母や親族を訪れる場合には配慮してほしい。</li> <li>・郷友会は伝統文化の担い手なので配慮してほしい。</li> <li>・事故防止のための草刈りやビーチのごみ拾い、外来種の駆除などに来ているボランティア団体や石垣の業者は特別扱いしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊してもらって島の良さを分かってもらえるように訪問税を払った方には宿泊券や商品券を配るなどの特典などがあるといい。</li> <li>・訪問税の名称に違和感があり、観光負担税などにしたほうが良いのではないかな。</li> <li>・将来を考えると自分たちで税収を確保する必要がある。還元やアプリなどを活用して懸念を払しょくして行ってほしい。町民も来てよかったと思われるように皆で協力すべき。</li> <li>・税を払った観光客がメリットを感じられるような施設整備などに活用してほしい。事前に使い道を示してほしい。</li> </ul>
1月26日 竹富島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の島に行くときは、竹富島には500円、次に波照間に行くなら1000円といったようにできないかな。</li> <li>・来訪者の数自体を減らして支出を絞るといった考え方はないのかな。</li> <li>・訪問税には賛成だが2000円を取ることで観光客は減少すると思う。</li> <li>・石垣のホテルラッシュやオーバーツーリズムを考えると2000円は妥当だと思う。観光客も減らないと思う。同じ多島のパラオでは15000円取っている。訪問税を始めたうえで、量から質への転換を考えるべき。</li> <li>・2000円にしても一律なら竹富島に来るだろう。黒島は500円といったように差をつけられないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族など大人数で来た時に大きな出費になるので家族割りやグループ割があるとよい。</li> <li>・ダイビングで近海にきて昼食を食べに島に寄る際も課税されるのかな。そのような船にも説明はするのか。</li> <li>・町内に泊まって、町内に遊びに行くのに、交通の便がないので石垣を経由してまた税がかかるのは、宿泊型観光を目指しているのと逆行する。</li> <li>・石垣島から近く多くの観光客が来るので、町内の事業の従業員も石垣に住んでいる人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船会社に徴収を頼まなければいけないので、できると考えないほうが良い。</li> <li>・まずは社会実験として1年程度やってみたらどうか。失敗してしまったらももには戻せない。</li> <li>・石垣島に渡らずに竹富町の島々を巡るコースができるとよい。</li> <li>・入島料の経験を踏まえて、税収をどう使っていくのか説明が求められるだろう。また船会社や旅行会社にも説明が必要だと思う。</li> <li>・船会社の負担が増えるが補填はあるのかな。調整はしているのかな。</li> <li>・世界遺産を訪問税を作る根拠にできないかな。</li> <li>・竹富町には観光客が多く来て対策も必要なので、税収は人口基準ではなく観光客基準で竹富島に多く配分してほしい。</li> </ul>